



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
 URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>
 Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
 発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



就任のご挨拶

病院事業管理者 船曳 哲典



このたび上天草総合病院事業管理者を拝命した船曳哲典(ふなびき てつなり)です。この場を借りて、ひとこと就任の挨拶をさせていただきます。

以前、私は厚生労働省の研究班で「過疎地の医療」の調査研究を行ったことがあり、そのときの御縁で上天草総合病院に勤務させていただくことになりました。この病院に勤務して7年目になりますが、このたび思いがけず事業管理者を仰せつかった次第です。

上天草総合病院の建物の前には青い海がひろがり、背後には緑の龍ヶ岳がそびえています。美しい自然に囲まれたこの場所に病院ができたのは1964年(昭和39年)です。まだ天草五橋は開通しておらず、地域の人たちは病気になると船で八代方面の病院を受診していたと聞きました。医療施設が乏しいこの地域に病院を建設しようと決意し、それを実現させた地域の先輩たちの熱意や努力を思うと、感動で胸が熱くなります。

私たちの病院は、病院以外にも7つの事業を行っています。その事業とは上天草看護専門学校、健康管理センター、訪問看護ステーション、介護老人保健施設「きららの里」、在宅介護支援センター、居宅介護支援センター、教良木診療所の運営であり、

いずれも地域の医療や保健活動に欠かせないものです。私は全国1450の自治体病院、公的病院を調査しましたが、上天草総合病院ほど多くの事業を行っている病院は見当たりませんでした。経営的メリットを求めて多角経営に転じたというより、この地域に必要な機能を病院が引き受けざるを得なかったというのが実情でしょう。

さらに私たちの病院は熊本県災害拠点病院、熊本県へき地医療支援病院、熊本県地域医療拠点病院に指定されており、上天草地域の医療機関、福祉施設を相互に結ぶネットワークの要(かなめ)として大きな役割を担っています。

さて先日、上天草総合病院創立60周年の記念式典がありました。初代病院事業管理者の樋口定信先生が講演され、「上天草総合病院には、今までに大きな2つの困難があった。1972年(昭和47年)の天草大水害、2007年(平成19年)前後の不良債権問題であるが、これからは地域の人口減少が一番大きな課題になると思う」と述べられました。

人口が減少すると病院の働き手が少なくなり、日々の業務に支障が生じます。人口減少は職員の努力だけでは食い止めることができませんが、私たちの病院は人口減少下でも「持続可能な病院」に変わって行く必要があります。患者様や関係の皆様がその変化に気づく場面があるかもしれませんが、暖かく見守っていただけると幸いです。

創立60周年記念（令和6年度）運動会を終えて

事務長 山川 康興

令和6年9月28日、龍ヶ岳体育館は、満面の笑みと大きな声で仲間を応援する職員でいっぱいでした。創立60周年の記念大会となる令和6年度の運動会は雨天対策とケガ防止を考慮し、屋内での開催となりました。今回、コロナ禍で途絶えていた大会を5年ぶりに復活させるに当たっては人員の確保、過去の資料を見返しながらの準備等、実行委員の皆さんには大変なご苦労をお掛けしました。

振り返れば6月開催の第1回実行委員会で本大会の目的を「職員の心身の健康増進と融和を図り、働きやすい職場づくりにつなげる」ということに設定し、年齢・職種を問わずみんなが安全で健康的に楽しめる種目を選定するよう心掛けました。会議は、毎回手探りで資料の準備が不十分であったり、ケガや感染症のリスクを考慮し直前に種目の中身を見直す必要があったりとバタバタな場面もありましたが、委員全員が課題を共有し合いながら協力・連携できたことで、当日は応援を含めると11競技種目に150名を超える参加者を迎えることができました。



い知らされました。

先行きが危ぶまれるスタートでしたが終始会場に溢れた「生き生きとした表情」、「ハリのある声援」、「飛び交う冗談」は、おおよそ普段の職場では見ることのない姿でしたし、なかでも子どもたちが競技に参加する光景はとても微笑ましく、実行委員会として苦労が報われる瞬間でした。改めて参加者はもとより関わっていただいた全ての方に心から感謝します。

コロナ禍以降、多くの行事やイベントが途絶え、地域のつながりは希薄化し、職場でもプライベートな時間を共に過ごす機会は皆無に等しくなっています。しかし、こんな時代だからこそ、「仲間を知り」、「仲間を想う」ための時間は大切であり、それにより得られる職員間の絆は何とも代えがたい大切なものだと思います。運動会を終えた今、当初の目的すべてが達成できたとは思っていませんが、少しでも職員間の相互理解とコミュニケーションが促進されたのであれば嬉しく思います。

今後、へき地医療・介護を取り巻く情勢は、ますます厳しいものになることでしょう。まずは当院が職員同士の相互理解と対話を深化させ、チーム力を高めることで拠点病院としての役割を果たすとともに、医療・福祉の関係施設の皆様方と更に有機的な連携を図り、地域住民の健康・福祉の増進に貢献できるような体制づくりに努めてまいります。目指すは県下ナンバーワンの連携体制「チームあこう」ですね。



開会式では優勝杯返還にあたり優勝カップを忘れるというハプニングもありました。普通であれば実行委員会が犯した前代未聞のミスなのですが、尾崎涼太主将の見事な機転と院長の適切な判断で、あたかも実物があるかのごとく身振り手振りでカップを返還する奇跡の展開で窮地を脱することとなりました。改めて柔軟な思考と適切な判断力の大切さを思

宣誓式を終えて

上天草看護専門学校 48期生 吉村 和花



宣誓式を終えて、私は看護師という職業の責任や役割の重要性について改めて考え感じる事ができました。宣誓式は、

看護学生が医療の一員として自覚を持ち、これからの学びや実践に対して真摯に向き合うための節目となる重要な式です。私はこの式を通じて、今後の学びと実践に対する深い責任を覚え、自覚を持って講義や実習に取り組んでいきたいと思っています。

私たち48期生は、二つのことを誓いました。

一つ目は、「心身ともに自己管理を徹底する」です。看護師として患者のケアに全力を尽くすためには、心身ともに自己管理を徹底することが不可欠です。看護は精神的・肉体的に負担が大きい職業であり、患者の健康を守る立場にいるからこそ、自分自身の健康管理も大切にしなければならない。そのため、適切な食事、十分な睡眠、課題や学習を計画的に行いために込めないなど習慣づけていこうと思います。

二つ目は、「探求心を持ち仲間とともに学び続ける」です。看護学生としても看護師になった時にも成長し続けるためには、探求心を持ち学び続ける姿勢が大切である。医療現場は日々進歩しており、看護師も常に新しい知識や技術に触れ、その変化に対応しなければならない。そのため看護学生であるうちから、疑問に思ったところや分からなかったことを共有し合い学び続ける姿勢を身につけていきたいと思っています。

最後に、私は患者一人一人に寄り添い、その人にとって最善のケアを提供できる看護師を目指して、努力を重ねていきたいと思っています。



研修会・勉強会の行事予定表

11月2日(土)	上天草総合病院 市民公開健康講座 天草地域の野生動物と感染症	11:00～ 上天草看護専門学校 講堂
11月13日(水)	糖尿病教室 糖尿病と高血圧について	14:00～ 当院6階講堂
11月15日(金)	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂
11月22日(金)	心臓リハビリテーション教室 循環器系に作用する薬について	14:30～ 当院6階講堂

編集後記

○令和6年度も下半期に入りました。猛暑だった夏も終わり一気に秋めいてきました。病院は4年ぶりに事業管理者が交代しました。新型コロナウイルスの流行がひと段落し、補助金が無くなったために病院経営は一段と厳しさを増しています。これから病棟再編など大きな改革を行っていく予定です。創立60周年記念事業は予定したイベントを順調に開催して来れました。これからも上天草総合病院の運営にご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。(竹下)

11月 診療案内

※は、応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 小林 博	和田 正文 平島 義彰 林田 夏南子	※岸川 秀樹 ※浦川 朋也 ※西岡 華子	和田 正文 細川 貴規 小林 博 ※高柳 宏史	細川 貴規 林田 夏南子 ※松田 圭史 (第1・3・5)	
代謝内科	※阪口 雅司	—	—	平島 義彰	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
腎臓内科	—	—	細川 貴規	—	—	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	小林 博	※山本 正啓	脇田 富雄	
外科	—	—	—	—	—	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	
婦人科(午前/午後)	坂口 優子/ オンライン診療	休診/ オンライン診療	坂口 優子/ 休診	—	休診/ オンライン診療	
※外来診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで) ※オンライン診療は、再診の方のみ予約診療となります。						
整形外科	藤松 晃一 (千丈 実香)	※上原 悠輔	藤松 晃一 千丈 実香	藤松 晃一 (千丈 実香)	※鮎田 貴也	
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	※熊大	竹下 哲二	竹下 哲二	11/1(金) 11/14(木) 11/15(金)
皮膚科	—	—	—	※宮下 梓	—	
泌尿器科	—	西 一彦	—	—	西 一彦	
※毎週金曜日の診療は完全予約制となります。						
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※大野 健翔	林田 夏南子	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 (午後)	小林 博	千丈 実香	応援	応援	林田 夏南子	
御所浦診療所 (午前)	竹下 哲二	—	—	—	—	
栖本病院 (午前)	—	—	林田 夏南子	—	—	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。